

3 次期札幌市がん対策推進プラン骨子

- (1) プラン構成（案）
- (2) プラン骨子案（一部）

(1) プラン構成 (案)

第1章 計画の概要

- 1 策定の趣旨と位置付け
 - (1) 「第2次札幌市がん対策推進プラン」策定の趣旨
 - (2) 国及び北海道のがん対策
 - (3) 計画の位置付け
 - (4) 計画期間
- 2 札幌市における「がん」の現況と市民意向
 - (1) 札幌市における「がん」の現況
 - (2) 札幌市民の「がん」に対する意識

第2章 基本方針と分野別目標

- 1 基本方針
- 2 分野別目標
 - (1) 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
 - (2) がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築
 - (3) これからを支える基盤の整備

第3章 分野別施策と個別目標

- 1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
 - (1) がんの1次予防
 - ①生活習慣について
 - ②感染症対策について
 - (2) がんの2次予防
 - ①受診率向上対策について
 - ②がん検診の精度管理等について
 - ③科学的根拠に基づくがん検診の実施について

- 2 がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築
 - (1) 相談支援及び情報提供
 - ①相談支援について
 - ②情報提供について
 - (2) がん患者等の社会的な問題への対策
(サバイバーシップ支援)
 - ①就労支援について
 - ②アピアランスケアについて
 - ③がん診断後の自殺対策について
 - (3) ライフステージに応じた療養環境への支援
 - ①小児・AYA世代について
 - ②高齢者について
- 3 これからを支える基盤の整備
 - (1) がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
 - ①教育機関によるがん教育
 - ②がんに関する知識の普及啓発
 - (2) 患者・市民参画の推進
 - (3) デジタル化の推進

第4章 計画の推進

- 1 関係者等の連携協力の更なる強化
- 2 目標の達成状況の把握
- 3 がん対策推進プランの見直し

(2) 骨子案（一部）

第1章 計画の概要

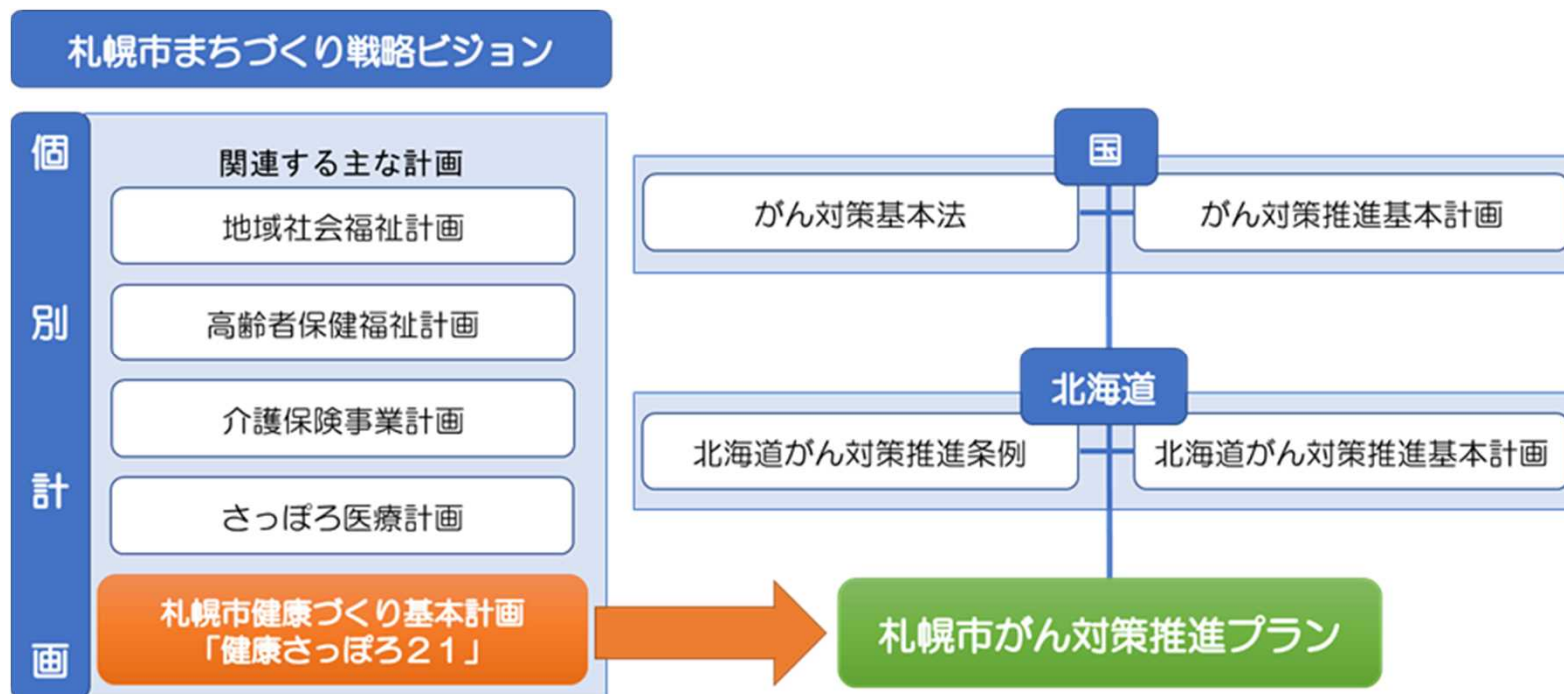
- 1 策定の趣旨と位置付け
 - (3) 計画の位置付け
 - (4) 計画期間

(3) 計画の位置づけ

- ・本プランは、札幌市のまちづくりの基本指針である「札幌市まちづくり戦略ビジョン」の個別計画である「健康さっぽろ21（第二次）」の、がん対策における実施計画として位置づけられます。
- ・策定にあたっては、札幌市関連計画や、国の「第4期がん対策推進基本計画」、北海道の「第4期北海道がん対策推進計画」等との整合性を図ります。

(4) 計画期間

- ・本プランの期間は令和6年度～令和12年度の7年間とします。
- ・なお、計画の終期については、国や他関連計画との整合性も考慮して決定し、社会情勢の変化や計画の進捗状況等、必要に応じて計画期間の見直しを行います。



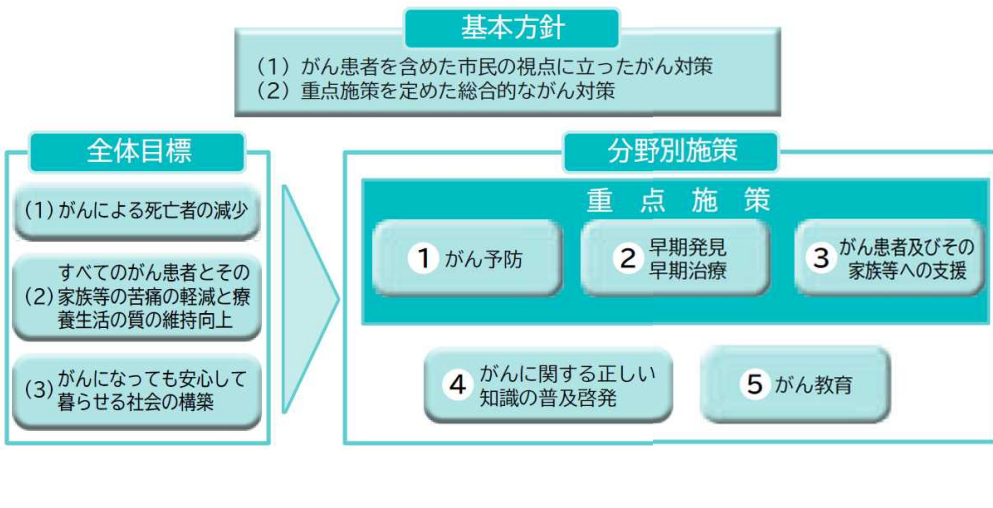
第2章 基本方針と分野別目標

1 基本方針

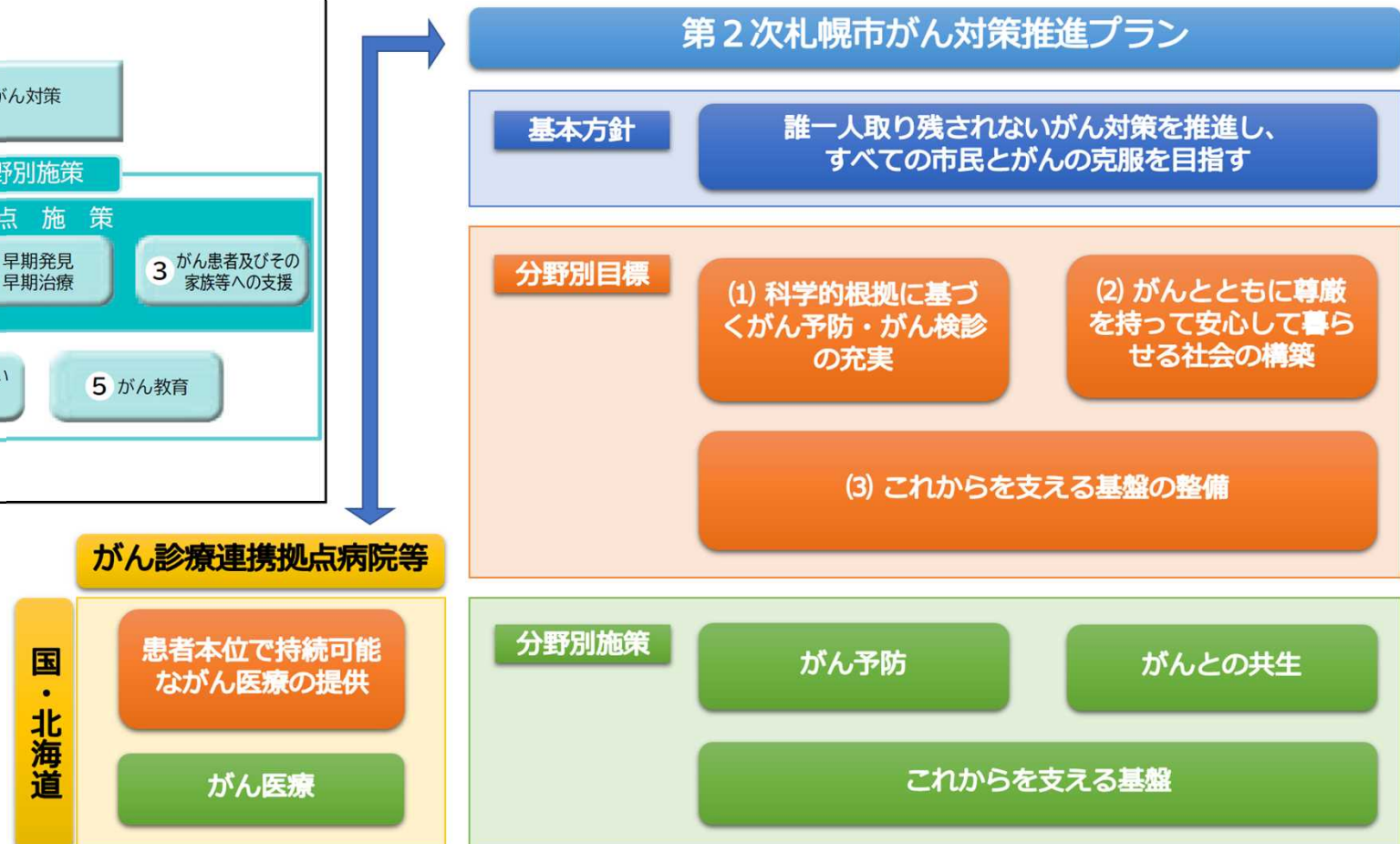
1 基本方針

- ・本プランは、国の基本計画に基づき、「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての市民とがんの克服を目指す」ことを全体目標として定め、全ての市民が、がんに関する正しい知識を持ち、避けられるがんを防ぐことや、誰もが、いつでもどこにいても、様々ながんの病態に応じた、安心かつ納得できるがん医療や支援を受け、尊厳を持って暮らしていくことができるよう、総合的ながん対策を推進していきます。
- ・本プランでは国の計画を参考に「科学的根拠に基づいたがん予防」「がんとともに尊厳をもって安心して暮らせる社会の構築」の分野別目標を定めるとともに、分野別目標を実現するために「これからの支える基盤の整備」にも取り組み、総合的ながん対策を推進します。

【現行プラン体系図】



【次期プラン体系図】



分野別施策 について

- ・現状の課題
- ・課題を踏まえた施策の検討

第2章 基本方針と分野別目標

2 分野別目標

- (1) 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
- (2) がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築
- (3) これからを支える基盤の整備

2 分野別目標

(1) 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実

- ・生活習慣や感染症対策など、がんを予防する方法を普及啓発するとともに、科学的根拠に基づいた施策を実施することにより、がんの罹患率を減少させます。
- ・全ての市民が受診しやすい検診体制を整備し、がんの早期発見・早期治療を促すことで、効率的かつ持続可能ながん対策を進め、がん死亡率の減少を実現します。

(2) がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

- ・がん患者やその家族等が住み慣れた地域社会で生活をしていく中で、必要な支援を受けることができる環境を整備します。
- ・札幌市、がん患者を含めた市民、企業や団体等は、医療・福祉・介護・産業保健・就労・教育支援分野等と連携し、効率的な医療・福祉・保健サービスの提供や、就労・教育支援等を行う仕組みを整備することで、社会的な課題を解決し、がん患者及びその家族等の苦痛の緩和を図ります。
- ・全てのがん患者が、いつでもどこに居ても、安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現し、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質を向上させます。

(3) これからを支える基盤の整備

- ・子どもに向けたがん教育や市民に向けたがんに関する情報の普及啓発、がん患者や市民が主体的にがん対策に参画する機会の創出、デジタル技術を活用した効率的・効果的な情報提供・相談支援など、これからを支える基盤の整備に取り組みます。

※ 国第4期がん対策推進基本計画 分野別目標「患者本位で持続可能ながん医療の提供」について

国計画でいう「がん医療」は、知事が推薦し、厚生労働大臣が指定する「がん診療連携拠点病院等」にて、専門的な医療の提供・連携体制の整備を推進する内容が主体となっている。

政令市の策定するがんプランとして、医療分野については、直接の分野別目標に据えるのではなく、拠点病院等と連携していく骨組みとしたい。

現行プラン構成と次期プラン構成（案）の比較

現行プラン	次期プラン（案）
<p>第3章 計画の体系</p> <p>1 基本方針</p> <p>（1）がん患者を含めた市民の視点に立ったがん対策</p> <p>（2）重点施策を定めた総合的ながん対策</p> <p>2 全体目標</p> <p>（1）がんによる死亡者の減少</p> <p>（2）すべてのがん患者とその家族等の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上</p> <p>（3）がんになっても安心して暮らせる社会の構築</p> <p>3 分野別施策</p>	<p>第2章 基本方針と分野別目標</p> <p>1 基本方針</p> <p>2 分野別目標</p> <p>（1）科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実</p> <p>（2）がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築</p> <p>（3）これからの支える基盤の整備</p>
<p>第4章 分野別施策</p> <p>1 がん予防</p> <p>（1）感染に起因するがんへの対策</p> <p>（2）たばこ対策</p> <p>（3）生活習慣の改善</p> <p>2 早期発見・早期治療</p> <p>（1）早期発見の推進</p> <p>（2）効果的ながん検診の実施</p> <p>3 がん患者及びその家族等への支援</p> <p>（1）相談支援体制の充実</p> <p>（2）働く世代のがん患者への支援</p> <p>（3）多様なニーズに対応したがん医療体制等の推進</p> <p>4 がんに関する正しい知識の普及啓発</p> <p>5 がん教育</p>	<p>第3章 分野別施策と個別目標</p> <p>1 科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実</p> <p>（1）がんの1次予防</p> <p>①生活習慣について</p> <p>②感染症対策について</p> <p>（2）がんの2次予防</p> <p>①受診率向上対策について</p> <p>②がん検診の精度管理等について</p> <p>③科学的根拠に基づくがん検診の実施について</p> <p>2 がんとともに尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築</p> <p>（1）相談支援及び情報提供</p> <p>①相談支援について ②情報提供について</p> <p>（2）がん患者等の社会的な問題への対策(サバイバーシップ支援)</p> <p>①就労支援について</p> <p>②アピアランスケアについて</p> <p>③がん診断後の自殺対策について</p> <p>（3）ライフステージに応じた療養環境への支援</p> <p>①小児・AYA世代について ②高齢者について</p> <p>3 これからの支える基盤の整備</p> <p>（1）がん教育及びがんに関する知識の普及啓発</p> <p>①教育機関によるがん教育</p> <p>②がんに関する知識の普及啓発</p> <p>（2）患者・市民参画の推進</p> <p>（3）デジタル化の推進</p>

・国計画と現行プランを基に次期プラン構成（案）を作成。

・現行計画の評価を踏まえ、実施事業内容の拡充や見直しを図るとともに、（赤字部分などの）新たな取り組みを検討する。